

元気なうちから“もしものとき”を考える ～『縁起でもない話』を当たり前に～

想像してみてください。

あなたは突然病気にかかり、人生の最期の時を迎えることになりました。

自分の最期に「大切にしたいこと」は何ですか？また、ご家族や親しい方は、あなたが大切にしたいことを知っていますか？

例えば

痛みがないこと

家族と一緒に過ごすこと

いい人生だったと思えること

？

？

5つ答えることができますか？

私たちは自分の人生の最期を、いつ、どのように迎えるのか、わかりません。また、想像することも、『縁起でもないこと』と避けて通っているかもしれません。

しかし、自分らしく最期まで生きるために、自分のことを自分で決めることができるうちに考えること、『どうしてほしいのか』をご家族や親しい方に伝えること、理解し合う時間を持つことは、とても大切です。一度で決めず、健康状態や気持ちが変わる度に話し合ってもかまいません。“もしものとき”について、考えたり話し合うことを当たり前にしていきましょう。

もしバナゲームと事前指示書の書き方講座

～縁起でもない話を当たり前に～

自分の気持ちに向き合い、また自分の思いを代弁してくれるご家族や親しい方と話し合うきっかけになるゲームの体験と事前指示書の書き方の講座を開催します。

元気なうちに、“もしものとき”を考えてみましょう。

日時 平成31年1月15日(火)13時30分～15時

場所 保健センター 大会議室

定員 40名(先着順)

対象 市内在住の方。年齢は問いません。

申込み 12月5日(水)9時から電話で保健センターへ



私の事前指示書	
① 代理判断者の選択	
自分に代わって、自分の医療・ケアに関する判断や決定をする人を記載	
※代理判断者は、身体状態や意思の状況、あるいは医学の進歩を考慮して「その時のあなたにとって最善の判断や決定をしてくれる人です。」	
「私が自分自身で、医療・ケアに関する判断・決定ができなくなった時、以下の人を代理判断者とします。」	
代理判断者	代理判断者
氏名 (続柄)	氏名 (続柄)
住所	住所
電話番号 (緊急連絡先)	電話番号 (緊急連絡先)

事前指示書とは、もし自分で意思表示ができない状況になったとき、どうしてほしいかを書くものです。半田市版「私の事前指示書」は保健センター、高齢介護課、半田病院、半田市包括支援センターに設置してあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。(サイト内で「事前指示書」で検索。)



【問い合わせ】 保健センター ☎84-0646